

朝いちばん鴨池中継

にぎやかです。夜明けから観察館オープンまでの間に、ガンたちが動き始めます。とある日の朝のようすをのぞいてみましょう…

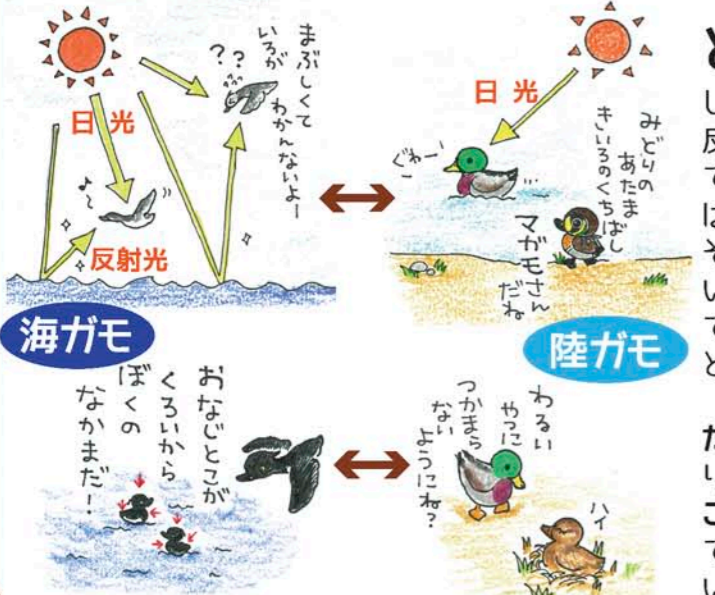
カワウが次々と池の沖から飛び立っていきます。	6:40	薄暗い中、マガン・ヒシクイ・コハクチョウの鳴く声が聞こえます。
コハクチョウ12羽、東へ。柴山瀧近くのたんぼに行くのかな？	6:52	日の出時刻です。天気は雨。気温は3℃。
マガン5羽、南西へ。待ちきれなかったかな？	7:07	コハクチョウ25羽、沖へ移動開始。
マガン676羽、南西へ。大きな群れになって出ていきます。	7:11	明るくなってくると、マガンの声が高まって、あちこちで「ごはん食べにこうよ」と羽をはばたかせ、そわそわし始めます。
マガン137羽、南西へ。	7:17	マガンも池の中央へ移動開始。はばたきもさらに多くなってきます。そろそろ…？
マガン96羽、南西へ。	7:23	
コハクチョウ20羽、東へ。	7:35	
マガン16羽、池に残っています。	7:36	
ヒシクイ11羽、北へ。	7:59	
コハクチョウ4羽、東へ。	8:04	
	8:05	
	8:11	
	8:14	
	8:18	
	9:00	観察館オープン！



所変われば姿も変わる？

海ガモと陸ガモ。同じカモのなかでも海に生きるカモと陸に生きるカモでは、その姿かたちそれぞれ大きな特徴があります。

	海ガモ	陸ガモ
羽の色	白黒がはっきり	色彩豊かなものが多い
雌雄の差	あまり差はないが、メスのほうが暗め	オスは派手な色、メスは茶色系で地味



どうしてこんな違いがあるのか？それは光が大きく関係しています。海の上では空から太陽の強い光が照りつけ海面に反射します。いわば上下からまぶしい光の当たる逆光の世界です。そんな中で自分と同じ仲間かどうかを見分けるとき、色は頼りになりません。明暗の違いしかわかりにくいからです。そのため、海ガモのほとんどは白黒のはっきりした模様をしています。これに対して陸地では太陽の日差しが勝る順光の世界であるため、色の違いもわかりやすいので、陸ガモの多くは色とりどりの羽を持つようになりました。

また、海にすむカモたちにとっては自分たちとそれ以外の鳥たちを見分けることが大事なので、オスとメスの差がありませんが、陸にすむカモたちはオスとメスの違いを見分けること、子育てをするときに外敵にねらわれにくいことが大事であるため、オスとメスの羽の色や模様が違うように進化していったと考えられています。

鴨池通信

かもいけつうしん No.256/2014.12

「トモエガモ最大個体数予想クイズ」、応募は今月31日まで！まだの人は急げ!!! (12月10日現在1013羽です)

12月号 CONTENTS

- ・所変われば姿も変わる？
- ・朝いちばん鴨池中継
- ・かもいけ歳時記 師走
- ・鴨池のいきもの 12月
- ・TORI TOPICS Nov.
- ・イベントあるよ！

しあきん



冬のたんぼに水満ちる

かもいけ歳時記 師走

みぞれ混じりの雨が降り、鉛色の空を見上げる日が多くなりました。鴨池もいよいよ冬本番。ガンやカモたちもますます元気になります。

彼らにとつて、安心して休める場所とともに大切なのがたんぼ、つまり餌場です。たんぼの落ち穂や雑草の種などを水と一緒に吸い込み、糞や種だけを漉して食べるカモたち。水がないたんぼでは上手に餌を食べることができません。休む場所の周りに水のあるたんぼがたくさんあれば、ガンやカモたちもたくさんやってきます。

加賀市内でも、冬の間たんぼに水を溜める「ふゆみずたんぼ」に協力してくださる農家の方が増えてきており、毎年12月、片野町と下福田町のみなさんには町の子ども会の行事とあわせてたんぼの水入れをしていただいています。暗渠の栓を閉めて自然に水が溜まるようにした「あまみずたんぼ」に協力してください方もいらつしやいます。

夜の間にカモが来て、水が濁っているたんぼが市内のあちこちで見えたりするといいですね。



真雁

と書いて「マガン」と読みます。ワタクシは鴨池にお邪魔しております、マガンパパであります。鴨池にはワタクシのように、一家そろって冬の間ここで世話になるマガンパパがたくさんおられます。鴨池は食事に行くにも休むにも大変都合のよい場所です。妻も子ども達も気に入っております。そうなんです。我々マガンは常に家族で行動しているのです。北から日本に渡ってくる時も、日本にいる間も、そして北へ帰る時もずっと一緒です。もちろんご飯を食べに行く時も、家族全員が賛成しなければ決して飛び立ちません。家族全員同意の上で行動する。これが我々マガンの鉄則であります。

鴨池のいきもの 12月 マガン

我々は鴨池をめぐら、つまり休む場所にしてあります。夜はここで休み、朝早くに西の方のたんぼへご飯を食べに飛び立ちます。そして日が暮れる頃また鴨池に帰ってくる…そんな日々を送っているのです。ですから屋間鴨池に不在のことが多く、みなさんにお会いする機会が少ないのが残念ですが、今月の20日と21日、朝早く鴨池に来てくだされば、我々が一緒に飛び立つ姿をお見せすることができるかと思います。ぜひお越しください！



TORI TOPICS Nov.

- *11月の鴨池に来た鳥・いた鳥・事件などなどハイライトでご紹介します！
- ・ホオジロガモ初認 (1日)
 - ・キツネ、コガモを捕獲 (2日)
 - ・サンカノゴイ鴨池たんぼに現る (4日)
 - ・キツネ、オオバンを捕獲 (7日)
 - ・ミコアイサ初認 (9日)
 - ・オオタカ(若)、オオバン捕獲 (10日)
 - ・オオタカ(若)、マガン♀捕獲 (20日)
 - ・マガン終日鴨池に滞在 (28日)
 - ・マガン1000羽鴨池飛来 (30日)
- ※カムリカイツブリ長期滞在中

イベントあるよ！

ガンの飛び立ちを見よう

開館時間中になかなかお目にかかれないマガンの姿と、彼らが一緒に飛び立つ様子も見られるのはこの機会だけです!!コハクチョウの飛び立ちも見られるかも!?

12月20日(土)
21日(日)早朝6:30~(両日とも)

持ち物: 防寒具・双眼鏡(お持ちの方)

※事前のお申し込みは不要です。館内は寒いので暖かい服装を越してください。参加費は無料(別途入館券をお買い求めください。大人310円・75歳以上150円・高校生以下は無料です)。